

毎月一回

一日發行



郵便不要

定價拾錢

月刊文藝雜誌 主筆小林靜軒

すみれ第壹卷第八號

(十二月一日發行)

掲載要目

○千代の白菊	名取烏川
○白菊の歌	小林靜軒
○學問と人生	丹澤美助
○花すゝき	鳥野幸次
○箱根菊	北澤物
○老版	小澤
○初紅葉	村松
○露營の一夜	岡田
○秋聲	庄田
○かきだめ	杉野
○血しほの花	丸山
○箱庭	日當
○流星	秋園
○霓襲來	篠原
○五色の石	秋山
○夕雲	せいけ
○クリスマスノ歌	▲ん
○故秋の家先生の書簡	▲ん
○伊勢物語私見(つゞき)	小林靜軒
○黄菊白菊	横山花子
○野の石	堀内柳軒
○あめつち	小林靜軒
○十七字	南城、逗々、枝風
○あさ空	有松、曉、衣
○村時雨	下枝、富士
○み暮詣	靜軒
○ほすゝき	みどり、撫子

すみれ 歌集



出版豫約募集

体裁 四六版形用紙精長 挿畫數種色摺美本

定價 金參拾錢 郵稅四錢

本會が、同人作物の粹を選みて、出版せむとする、歌集甲斐が嶺は、來る二月紀元節の佳辰を下して、これを世に公にせむとす

期日 明治廿八年二月十一日發行  
豫約 減價一部貳拾錢、郵稅四錢  
寄稿 短歌拾首以内(題隨意)

山梨縣甲府市魚町二丁目

小林靜軒方

發行所

すみれ會

# 心のな

佐々木信綱主筆

一月一日發行第九卷第一號

蝸牛庵瑣談

幸田 露伴

いさご路

小山内八千代

十里河のはとりより

森 鷗外

獨逸劇場雜觀

久保猪の吉

イブセン作につきて

大塚文學博士

琉球羽衣傳説

昇 曙夢

玉手箱のぶちこわし

學海 居士

万葉集講話

木村文學博士

万葉の歌と古今の歌と芳賀文學博士

湖の冬(美文)

長 文學士

息災延命(小説)

小栗 風葉

江戸見坂(新体詩)

川田 順

アルペン(新体詩)

土井 晚翠

みちしば(小説)

新井 雨泉

新年旅

長井 金風

今は昔(美文)

石樽 千亦

お伽文學につきて

巖谷 小波

湯元がよひ(小説)

大塚楠緒子

家庭三ヶ日

山岸 荷葉

人の世(短歌)

片山 廣子

小女嘆(ランドル作)

小山内 薫

とこやみ(短歌)

橘 糸重子

露西亞の美術

八杉文學士

鏡浦漫吟(短歌)

印東 昌綱

春曙夢(ダマンチオ作)

大久保雨枝

新潮(短歌)

佐々木信綱

艶福男(チエホフ作)

夏葉 女史

ともし火のもと(美文)

佐々木雪子

ゲーテが叙事詩

三浦文學士

邁月尼自傳(文學史料)

小原 頼之

一冊拾三錢 半年七拾五錢

日本橋本石町一ノ竹狗會出版部

舟橋水哉編輯 (二月一日發行)

# 家庭

價一部六  
錢年七十  
二錢每月  
五日發行

◎大に改良されたる本誌を見よ

## 第五卷第一號要目

- ◎小泉八雲氏逸話
- ▲ツァツの裁縫
- ◎徳川時代の婦人
- ▲料理案内
- ◎聖親戀の家庭
- ▲和歌の評釋
- ◎聖親戀の小傳 (廿四頁及)
- ▲募集和歌
- ◎聖親戀の宗教
- ▲子供の考
- ◎新年の家庭
- ▲老物募集
- ◎妾の半生涯を讀む

大谷文學士 常盤千代子 吉岡梢風 丹輪みち子 前田博生 映田田 住田繞石 大谷繞石 佐々木月 三本記社 舟選者

### 會員募集

和歌獎勵の爲に本誌の幾分なきを廣く天下に募集して大谷文學士の選を乞ふとしたり當分別に會則を設けず◎追て會員氏名披露に付住所氏名通知ありたし◎會名は本誌一年分以下呈上の懸賞募集にて定む一月十五日迄に申込まれたし

### 發行所

東京巢鴨 二二五五  
東京神田 二二五五  
表神保町

發行所 東京巢鴨 二二五五  
東京神田 二二五五  
表神保町

再版 家庭 櫻 價八錢 郵税二錢

新刊 家庭話の園 價三十錢 郵税四錢

新刊 家庭源信小傳 定價同前

舟橋水哉著

新刊 軍國民の慰安 價一部三錢 郵税五錢 迄二一錢

大須賀秀道著

# 謹賀新年

舊年は毎々御懇命を垂れられ奉謝候  
尚不相變御引立被下度御願申上候

## をささな繪葉書

印刷は美麗なる數度刷にして紙質は堅くして良し、六枚壹組  
定價拾五錢郵稅三組迄貳錢多數注文又は幼稚園御用には割引

をさなが家庭團欒の間に愉快氣に遊べる、幼稚園にて談話、唱歌、手技、遊戲を爲せる、將た紅葉の様なる手  
を揚げて出征軍を送れる杯を畫けるものに有之、幼兒を持てる人への贈物或は一般年玉等に最適又保姆、教師  
諸賢御使用ありて至極宜しき品に御座候

## 幼稚園掛圖

談話、唱歌、手技、兼用、全六枚  
定價貳圓四拾錢小包送賃拾五錢 (説明書添付)

我邦には幼稚園用として是迄修身庶物の談話に供する掛圖すらなく尙更手技又は唱歌の掛圖なるものあらざる  
を以て保育上頗る遺憾に有之候處弊堂此度某々教育家の御勧めに従ひ試みに右掛圖を製して保姆諸賢の御參案  
に供し申候

▲此圖は例へば(一)金太郎の圖を示して金太郎の勇武、慈愛、孝心、健康等、修身に關する談話を試み次に  
猿、兎、熊、鹿及び草木に就て庶物の問答をなし幼兒をして掛圖によりて充分の趣味を感ぜしめ終りて(二)金  
太郎の唱歌を歌ひて更に徳性を涵養し美情を育成し心情を快裕ならしめ後(三)繪入積木を各兒に與へて隨意  
に金太郎の繪圖を組ましめ(繪入積木は第三恩物より成るもの、但し幼兒に能へざるも不可なし)或は恩物本  
來の脚旨に従ひて各様の形体を構成せしむる類なり▲印刷は最も美麗にして幼兒の眼を悦ばしむる様なせ  
り▲用紙は模造鳥の子二百斤を用ゐたり堅牢他に多く類無し▲製本は一枚毎に木片を兩方より打合せあ  
れば掲ぐるに最も便なり

(注意) 婦人と子ども(第四卷十二號)大阪教育(第四號)に於ては早くも此掛圖を御紹介あり殊に過分の御  
褒辭を蒙り小店非常の光榮を博し、又東京其他より續々實際御使用の模様を御報あり幼兒大喜びの由被仰聞  
候以て此掛圖の眞價御察被下度候

## 幼稚園恩物

右は僅に三十六年一月の開業に過ぎざるも全國各御園の御引立にて追々繁昌仕り候段恭く奉謹謝候尙今後とも  
御愛顧用命被仰付下度宜敷御願申上候  
▲品質は先輩諸店の恩物より優るとも劣るとなし▲代價は世間一般のものよりは餘程低廉なり▲顧客  
に手數と費用とを懸げざる様十分注意す▲他店に有らざる繪入積木、板挿、貝排べ、砂遊び、花形貼紙等  
を販賣す▲保育の普及を圖るには成る丈冗費を省くの要あり小店此點に最も注意し居れり

## 幼稚園恩物商

大阪市東區島町二丁目九三

天真堂主人謹白

